学校番号	1011

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説　日本史Ｂ　（山川出版）						
副教材等	図説　日本史通覧（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・日本の文化と伝統の特色についての認識を深める

２　学習の到達目標

・過去の人々によって積み上げられた遺産である歴史を学ぶことにより、現在の「日本及び日本人」がどのようにして出来上がったのかを理解し考察する。
・東アジアを中心とする周辺諸国との関わり合いの中で、日本の歴史が作られてきたことを理解する。
・歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技術	d:知識・理解
観点の趣旨	日本史の事象に興味を持ち、主体的・意欲的に追究しようと取り組んでいるか。	日本史の基本的な流れを理解し、現在の国際社会とのつながり、自分とのつながりを多面的に考察し、公正に判断しているか。 課題などを追究し、考察した過程や結果を適切に表現できるか。	さまざまな資料から情報を読み取り、思考・判断のために必要となる情報を取捨選択することができるか。	日本史に関する基本的知識や流れを身につけ、歴史が複合的な要因で成り立っていることを理解しているか
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査
	※レポートは主題学習において個別のテーマを設定して行う			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	日本文化のあけぼの	・文化のはじまり ・農耕社会の成立 ・古墳とヤマト政権	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a: 古墳・ヤマト政権について興味・関心を持って学ぼうとする姿勢が見られるか b:古墳と被葬者の関係から自分なりの考えを述べることができるか c:発掘物の写真から情報を読み取り古墳・ヤマト政権について深く学ぶことができるか d:基本的な知識を得た上で歴史の発展について理解できているか	定期考査 ワークシート
	律令国家の形成	・飛鳥の朝廷 ・律令国家の成立 ・平城京の時代 ・天平文化 ・平安朝廷の形成	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:東アジアと日本の関係について興味・関心を持って学ぼうとする姿勢が見られるか b:東アジアの影響をどのような点で感じ、またそれを自分なりに表現できるか c:写真・史料から情報を読み取り律令国家について深く学ぶことができるか d:唐の影響を受けていることを理解できているか	
	貴族政治と国風文化	・摂関政治 ・国風文化 ・荘園と武士	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ 	○ ○	a:摂関政治・国風文化の成立について興味・関心を持って学ぼうとする姿勢が見られるか b:大陸文化の消化・吸収の上に国風文化が成立していることを理解し、どの点で感じられるかを自分なりに表現できるか c:史料などの内容から知識を得、摂関政治の成立について深く学ぶことができるか d:荘園と武士の成長の関係について理解できているか	
	中世社会の成立	・院政と平氏の台頭 ・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化 ・室町幕府の成立	○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:院政・鎌倉幕府の成立・滅亡へと変化していく流れについて興味・関心を持って学ぼうとする姿勢が見られるか b:鎌倉幕府の成立をいつと見るか、自分なりの考えをもって意見を述べることができるか c:これまでの文化の特徴と鎌倉文化の特徴について、必要な資料の収集・選択ができ、自分なりに表現ができるか d:地頭の荘園支配など基本的な知識を得た上で、鎌倉幕府の滅亡について理解できているか	定期考査 ワークシート
	武家社会の成長	・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場	○ ○	 ○	 ○ 	○ ○	a:将軍権威の没落と戦国大名について興味・関心を持って学ぼうとする姿勢が見られるか b:戦国大名の出自について政治的な影響を含み、自分なりの意見を述べることができるか c:必要な資料の収集・選択により室町文化の特徴に気づくことができるか d:室町時代と戦国時代について基本的な知識を得、両者のつながりについて理解できているか	定期考査 ワークシート

2学期	ヨーロッパ文化との接触と国内統一	・織豊政権 ・桃山文化	○	○	○	○	a:信長・秀吉・家康の天下統一事業へのかかわりについて興味・関心を持って学ぼうとする姿勢が見られるか b:戦国時代の合戦の意義について疑問を掘り下げ、それに対し自分なりの考えを出し表現できるか c:資料の活用により佛教食の衰退した文化であることを理解できるか d:基本的な知識を得た上で戦国時代の歴史的役割を理解できるか	定期考査 レポート ワークシート
	主題学習（テーマ別）	・課題の設定 ・調査方法 ・資料収集 ・成果報告	○	○	○	○	a:これまでの日本史の授業を通じて学んだ内容の中から自分が興味を持つ内容について、さらに深いテーマを設定し主体的に学ぼうとする姿勢が見られるか b:設定したテーマに対し自分の意見を明確にした上で発表し、その発表の仕方にも工夫が見られるか c:研究テーマの考察の際、必要な資料の収集・選択ができており、また発表の仕方にも映像や地図を用いるなど創意・工夫が見られるか d:調査の過程で得られた知識を自分のことばで説明することにより、より深く理解できているか	定期考査 レポート ワークシート
		・江戸幕府と大名・朝廷 ・身分制度の確立 ・キリスト教禁止と鎖国	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:江戸幕府の組織と大名統制，朝廷・寺社統制など，幕藩体制の特色について興味・関心を持って学ぼうとする姿勢が見られるか。 b:初期外交から鎖国までの過程について、、琉球・朝鮮・蝦夷地との交易など東アジアの動向と関連させて自分なりに考え、表現することができたか。 c:参勤交代のコラムを活用し，武家諸法度による大名統制について考察できるか ｄ:絵画資料をもとに，それぞれの身分の暮らしについて考察し、理解できるか	
	幕藩体制の展開	・幕府政治の進展 ・経済と産業の発達 ・学問の新傾向と元禄文化	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:文治政治への転換から、幕政の安定過程を興味・関心をもって学ぼうとしたか b:農業技術の進歩に伴う農業生産の進展について自分なりに考え、表現することができたか c:産業の発達と多様化、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達に着目して、諸産業の展開を考察できたか d:元禄文化について、町人の経済的繁栄や、幕府の教学として発展する儒学などに着目して、文学・学問・美術を踏まえて理解できたか	

	幕藩体制の動揺	・幕藩体制の動揺と政治改革 ・幕藩体制の危機	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに着目して、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について考察できたか。 b:列強の接近に伴う諸事件による鎖国政策への批判について自分なりに考え、表現できたか。 c:寺子屋など庶民教育機関の普及、浮世絵に象徴される出版文化の発達などに着目して、資料をもとに近代化の芽生えについて考察できたか。 d:寛政の改革・文化文政時代・天保の改革における失政と幕藩体制の動揺について理解できたか	定期考査 レポート ワークシート
3学期	近代国家の成立	・開国と幕末の動乱 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家と日清戦争 ・日露戦争と国際関係 ・近代産業と文化の発展	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:開国による経済・社会の情勢変化について意欲・関心をもって学習できたか。 b:明治初期の外交政策について理解し、自分なりの言葉で表現できたか。 c:国民の政治的関心の高揚と挫折について資料をもとに考察できたか。 d:日露戦争が軍事力・経済力・工業力など国家の総力を結集して戦われ、その後の韓国併合や満州進出につながったことについて理解できたか。	定期考査 ワークシート
	二つの世界大戦とアジア	・第一次大戦と日本ワシントン体制 ・市民生活と大衆文化 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次大戦と終戦	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:第一次大戦後の大陸進出に対する中国・朝鮮における民族運動の高揚について意欲・関心をもって学ぼうとする姿勢が見られるか b:関東大震災・金解禁・世界恐慌との関連を含めて満州事変から国際連盟の脱退に至る日本の対外政策について考え、自分なりの言葉で表現できたか c:新興財閥の台頭、思想的転向や学問への弾圧の事例をもとに、軍部の政治関与が増大した過程を考察できたか d:連合国と枢軸国の性格の違いや総力戦体制などを踏まえ、日本がアジアの諸国に多大な損害を与えたことや広島・長崎への原爆投下など日本も空前の戦禍を被ったことについて理解できたか	
	占領下の日本と高度経済成長	・占領と改革 ・冷たい戦争 ・55年体制 ・経済復興から高度成長へ ・経済大国への道 ・冷戦後の日本	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:戦後日本の経済復興と世界情勢の変化について意欲的に考察し、関心を高めようとしている b:戦後の国際社会への復帰と日本の経済復興にいたる家庭について、多面的多角的に考察し、適切に表現している c:事例の考察に必要な諸資料を適切に読み取っている d:戦後日本の復興と国際社会への復帰にいたる家庭について理解し、その知識を身につけている	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。